

# 北区の、大阪の未来は明るい!

## 懇談会で北区の20歳が大いに語る

1月12日(日)、「北区はたちのつどい」を北区民センターで開催します。出席する代表者5人と「北区はたちのつどい」実行委員会の西野仁委員長と寺本讓北区長が、北区の魅力や将来の目標などについて語り合いました。



### 北区はたちのつどい

(左から)寺本讓北区長、福井久輝さん、浜本美也さん、室谷禎乃さん、丸山夏樹さん、稲富まおさん、西野仁委員長

1/12(日)

- 天満・北稜・中之島中学校区…13:00～13:45(受付12:15～)
  - 大淀・豊崎・新豊崎中学校区…15:00～15:45(受付14:15～)
- ※お住まいの地域(中学校区)により、2回に分けて実施します

北区民センター(北区役所隣)

【対象】平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方

【内容】式典、抽選会(手話通訳あり)

※入場は対象者のみ ※自転車等のご来場は固くお断りします

※最新の情報は北区ホームページをご確認ください HPIはこちら▶



### 地域での活動、つながりを成長の糧に

心に残る思い出を聞いたところ、北区の地域行事やクラブ活動での体験を挙げてくれました。それぞれの人生における貴重な糧となっているようです。

「天神講に入って天神祭に参加。力を合せて祭りをつくり上げていくところに北区の魅力を感じます」(福井久輝さん)

「小学1年生から堀川小学校のマーチングバンドの指揮者に憧れていました。努力を重ねて6年生の時にオーディションを受け、指揮者になれたのがうれしかったです」(浜本美也さん)

「北区民カーニバルでは毎年リレーに参加しています。都会なのに行事がいろいろあって、地域のつながりが強いですね」(室谷禎乃さん)

「高校では野球部に所属。3年生の夏の大会では背番号『12』を手にしました。100人以上いる部員の中から20人しかもらえない背番号。とても重く感じました」(丸山夏樹さん)

「今年度から青少年指導員になり、子どもの頃から参加していた北区民カーニバルに運営側として携わることに。参加する側と運営側では全然違うことを学びました」(稲富まおさん)

### 20歳を迎える皆さんへ

「北区はたちのつどい」実行委員会委員長 西野仁

皆さん目的意識がはっきりしていますね。地域と様々な形で関わっている皆さんですが、そのつながりを次の世代にもつなげてほしい。北区をよろしくお願います。



北区長 寺本讓

皆さんのような人たちがこれからの大阪を支えてくれるかと思うと、大阪の未来は明るいと思いました。人生は一度きり。自分が選んだことが正解だと思って突き進んでもらいたいですね。



政策推進課 ☎06-6313-9743 ☎06-6362-3821

### 将来の夢は?

稲富さんの夢は障がいを持つ子どもの保育を行う加配保育士です。中学時代、職場体験で訪ねた幼稚園で、下半身が自由な子どもと部屋の中で一緒に遊びました。「帰りにその子が『今日はとても楽しかった。ありがとう』と言ってくれたのが忘れられなくて。その一言が保育士をめざすきっかけになりました」

幼い頃からクラシックバレエを習い、舞台鑑賞が趣味の浜本さんは、舞台芸術コースがある高校に進学。舞台を支える側の存在の大きさに気づき、裏方としてステージをつくっていきたくと思っています。

### 初めての万博を楽しみたい!

福井さんは万博の公式ボランティアとして参加予定。現地で多くの人と関わることを楽しみにしています。丸山さんは「初めての万博。万博ならではの盛り上がりを楽しみたい」と話します。室谷さんは、国内外から多くの人がやってくることをきっかけに街全体が活性化し、大阪の魅力が発信される機会になれば、と考えています。

新旧様々な「推しスポット」がある北区! 最新情報と共にお伝えします

## 堂島薬師堂 堂島1-6-20

### 「堂島」の由来となった 堂島薬師堂

堂島アバンザ北東角、三角形のミラーガラス127枚を組み合わせたモダンな球体が目を引きま。実はこの建物が「堂島薬師堂」。周りには円形の池があり、お堂の内部にはご本尊の薬師瑠璃如来や地藏菩薩などが祀られていて、月に1回、奈良・薬師寺の僧侶による法要が行われます。



お堂の手前左側には商売繁盛や芸事上達のご利益がある白龍弁財天が祀られている

今から1400年余り前、聖徳太子が四天王寺を造営した際に資材運搬船が難破し、漂着した洲(しま)にお堂が建てられたことから、このあたりを堂島と呼ぶようになったともいわれています。明治42年の北の大火でお堂は焼失しましたが、仏像は近隣の店「花半」の主人が持ち出して焼失を逃れたそう。その後お堂は建て直されて地域で祀られ、平成11年の堂島アバンザ竣工時に現在の形となりました。

### 早春の風物詩・節分お水汲み祭り

かつて薬師堂には井戸があり、その水を汲んでお薬師さんにお供えていました。堂島薬師堂の節分お水汲み祭りはこの「お水汲み」の風習と、地域に伝わる節分行事「鬼追い」が融合したお祭りで、地域団体と関西経済界が北新地と水都大阪の繁栄を願って始めました。節分法要の後、参拝者は奈良・薬師寺の井戸から汲み出した「お香水」と大阪天満宮の「天満天神の水」を入れた竹筒の護符を持ち帰り、福を授かります。そして、薬師堂から放たれた鬼を豆を撒いて追い、1年の厄を祓います。

22回目を迎える今年は、2月3日(月)に開催されます。



薬師堂での竹筒へのお水汲み

お祭りの日、堂島アバンザの特設ステージに北新地の女性による「お化け(仮装)」が登場。迫力いっぱいの鬼と一緒に写真撮影もできます。夜は花魁の格好をした北新地クイーンらと新地を練り歩いて厄払いをしますよ。



堂島連合振興町会長 霞流(かすづた)喜久英さん

教えて! 北区の「推しスポット」

⑧



### 新年あけましておめでとーございませう

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より北区政へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、春の花見に始まり、夏祭りや敬老会、地域の防災訓練、壮年ソフトボール大会や子どもドッジボール大会など、様々な活動に参加させていただき、子どもから高齢の方まで多くの区民の皆様と交流の機会が持てました。特に、10月の北区民カーニバルや11月の夢キタ万博2024には多くの方に参加していただき、皆様の熱気に圧倒されましたが、北区の元気を実感しました。

いよいよ4月13日から10月13日に渡り、大阪・関西万博が開催されます。会場での「大阪ウィーク」へ

の参加とともに、区内で開催する「夢キタ万博2025」を通じて、大阪の玄関口である北区からも大いに盛り上げてまいります。また、「人が集い、ともに支えあい、絆をはぐくむまち」をめざす将来像とする北区将来ビジョンの策定を進めています。今後10年間の施策展開の方向性を区民の皆様にお示しし、誰もが居場所を感じられるまちを実現できるよう取り組んでまいります。大阪の元気は北区から。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、2025年は巳年、年男として北区の発展のために、より一層邁進してまいります。皆様にとりましてますばらしい1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

北区長 寺本讓

